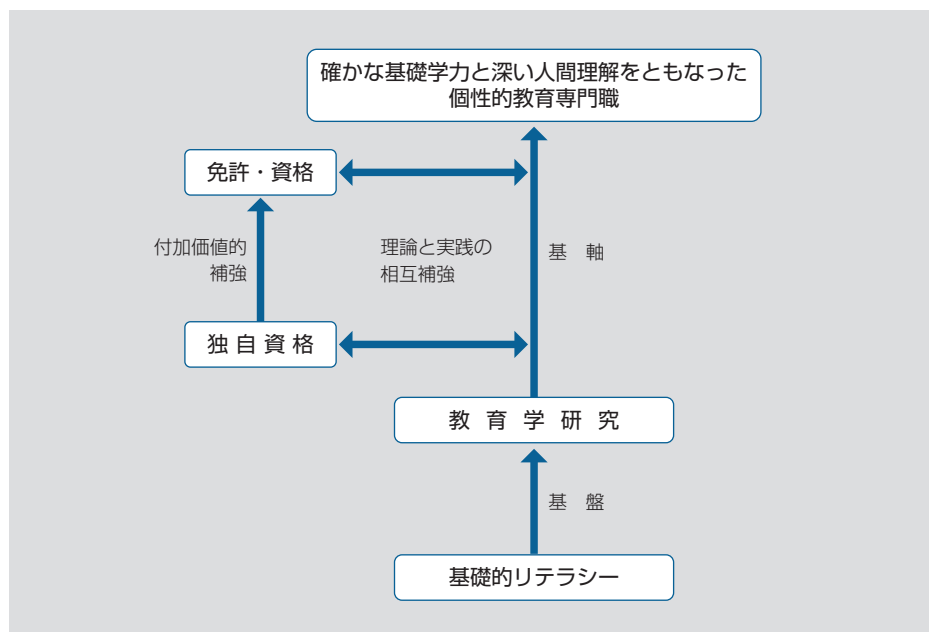


1 はじめに

- 確かな基礎学力と深い人間理解をともなった個性のある教育専門職を目指すのが、教育学部のカリキュラムの考え方です。



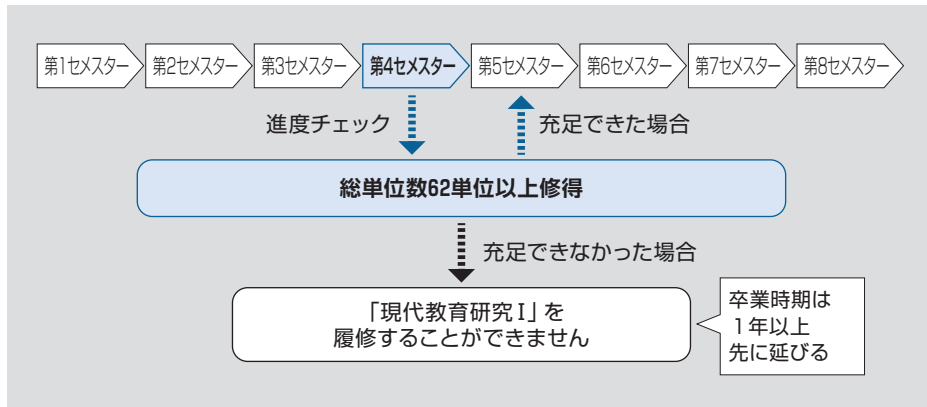
- 教育学部の入学生は、入学後、1年間は本格的な教育学研究や免許・資格の取得に必要な基礎学力を確立し、自らの可能性や学びたい分野を探る大学生活の助走期間として設定されています。
- 第2セメスター以降には、教員との綿密な相談によって自らの進路に即した学修プログラムを決定し、4年間の学修計画を作り上げていくことが求められます。
- 学修プログラムの組み合わせの仕方は学生の希望の数だけありますが、代表的な学修計画として、卒業後の進路に応じた履修モデル (p.158、p.164) が設定されています。

▶履修モデル

参照「履修ガイド」
p.158、p.164

2 履修条件

① 第4 Semester（2年次）終了時における進捗チェック



▶履修条件（進捗チェック）
参照『履修ガイド』
p.38

3 履修上の留意事項

- ① 「卒業課題研究Ⅰ・Ⅱ」は、「現代教育研究Ⅰ・Ⅱ」の単位が修得されていなければ履修することはできません。
- ② 以下の科目は、各 Semester の履修登録単位数の上限16単位には含まれません。また、単位認定は次 Semester 以降になる科目があります。
 - サマーセッション・ウィンターセッションで修得した科目
 - 「教育インターンシップA・B・C・D」
 - 「教育インターンシップ（幼）A・B・C・D」
 - 「保育インターンシップA・B・C・D」（乳幼児発達学科のみ）
 - 通信教育課程夏期スクーリング科目
 - ユニバーシティ・スタンダード科目 玉川教育・FYE 科目群の「玉川の教育」「音楽Ⅰ・Ⅱ」「体育」
 - ユニバーシティ・スタンダード科目学際科目群の「国際研究A・B・C・D・E・F」「地域創生プロジェクトA・B・C・D・E・F」「フィールドワークA・B・C」
- ③ すべての学生には、卒業までに共通する要件により、特定の科目の履修が求められています。その他の科目については、各 Semester および4年間における各自の学修の目的に合わせて選択、登録し、履修していくことになります。
- ④ 教育学部で開講される科目のほか、他学部・他学科で開講されている科目（全学部開講科目）を、一定条件のもとで履修し、卒業要件に必要な単位数に含めることも可能です。
- ⑤ なお、別に定める条件により、通信教育課程等で開講されている科目を履修し、修得の単位を卒業要件ならびに教職課程の要件として加算することも可能です。詳細については、別途ガイダンスが行われる予定です。
- ⑥ 卒業までに必要な単位数は、第1 Semester から第8 Semester まで、合計124単位です。その内訳、卒業要件、履修登録上限単位、警告制度は各学科のページを参照してください。

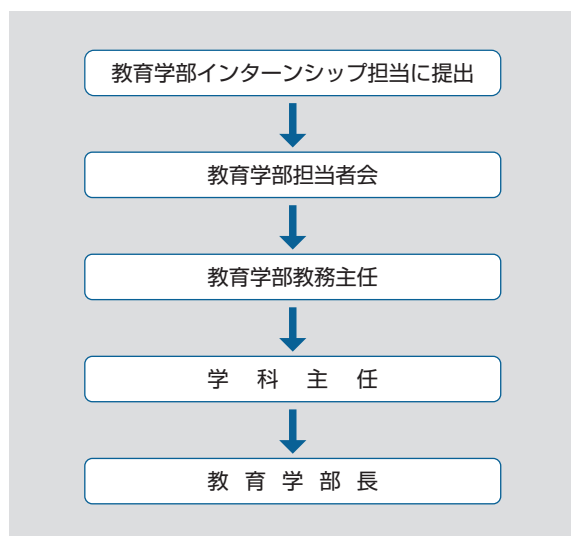
▶履修の制限
参照『履修ガイド』
p.45

▶単位の認定
参照『履修ガイド』
p.34

1 教育学部が認める学外での学修（インターンシップ等）の単位認定に関する規定

- 教育学部では、インターンシップ等免許資格取得関連諸科目を含む選択科目のうち、16単位を上限として、国内外の相当の教育機関において履修修得されたものを以下の条件で認定しています。

2 科目履修単位修得計画の事前承認手続きの流れ



●各種インターンシップの概要

① 学校等教育機関でのインターンシップ

玉川学園内のK-12の教育機関等、本学と提携している各市の教育委員会傘下の学校及び私立学校での教育活動に参加しての学びを単位認定の対象とします。修得した単位は、教育職員免許状を取得するために必要となる「大学が独自に設定する科目」として利用することができます。

【認定可能な科目】 教育インターンシップA・B・C・D /

教育インターンシップ（幼）A・B・C・D（最大6単位まで）

② 上記機関の他、保育所、児童福祉施設、社会福祉施設、子育て支援関連施設の活動、本学部が認める社会的活動等に参加しての学びを単位認定の対象とします。

認定こども園についてはインターンシップ担当に相談してください。

【認定可能な科目】 教育インターンシップB・C・D /

教育インターンシップ（幼）A・B・C・D（最大4単位まで）

保育インターンシップA・B・C・D（乳幼児発達学科のみ）

③ SAEプログラムにおけるインターンシップ

SAEプログラムにおけるインターンシップの単位認定はp.35に示したルールに従って認定されます。

4 教育職員免許状および各種資格の登録に関する規定

- 教育職員免許状や各種資格を取得のために登録／継続をする学生は、免許・資格の種類やレベル（1種・2種）にかかわらず、第4 Semester 終了時（3年次編入生は第5 Semester 終了時）までに以下の条件を満たしていることとします。

- ① 累積GPAが2.00以上であること
- ② 実用英語技能検定（CBT含む）準2級、TOEIC®L&RもしくはIPテスト 400点以上、GTEC（4技能版）690点以上、GTEC（3技能版）410点以上（オフィシャルスコアに限る）、GTEC for STUDENTS（L&R&W）410点以上（オフィシャルスコアに限る）、GTEC CBT 690点以上
- ③ 日本語検定3級、日本漢字能力検定準2級、日本語運用能力テストN-B2のいずれかを取得していること
- ④ 実用数学技能検定準2級を取得していること

- 検定については、指定の級以上であれば上述規定を充足したものとします。
- ただし、実用数学技能検定準2級に関しては、1次検定もしくは2次検定のいずれかについて、取得を希望する免許・資格種ごとに以下の資格の取得をもって替えることができます。

取得希望の免許状・資格	検定・試験
幼稚園教諭 保育士 小学校教諭	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、下記のいずれか1つを取得していること。 ● ヤマハ音楽能力検定・ピアノ演奏グレード8級（Aコース、Bコースいずれも可） ● カワイピアノグレードテスト演奏6級 ● ICTプロフィシエンシー検定3級（旧名称：パソコン検定）
中学校教諭（社会） 高等学校教諭（公民） 高等学校教諭（地理歴史）	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、下記のいずれか1つを取得していること。 ● 歴史能力検定2級 ● ICTプロフィシエンシー検定3級（旧名称：パソコン検定）
中学校／高等学校教諭（保健体育）	実用数学技能検定準2級1次または2次合格に加えて、ICTプロフィシエンシー検定3級（旧名称：パソコン検定）

- このいずれかの規定に抵触する学生は、教職免許および各種資格の受講の継続を停止または保留とします。
- その他、諸事情により特別な判断が必要とされる場合には、教育学部長が設置する委員会において個々に審査・判断するものとします。

実用英語技能検定	http://www.eiken.or.jp
実用数学技能検定	http://www.su-gaku.net
日本語検定	http://www.nihongokentei.jp
日本漢字能力検定	http://www.kanken.or.jp/kanken/
ヤマハ・音楽能力検定	http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/
カワイ・ピアノグレードテスト	http://www2.kawai.co.jp/school/gradetest/
ICTプロフィシエンシー検定	http://www.pken.com/
歴史能力検定	http://www.rekiken.gr.jp
TOEIC®	http://www.toeic.or.jp
TOEFL	http://www.ets.org/jp/toefl/
GTEC for STUDENTS	http://www.benesse-gtec.com/fs/
GTEC CBT	http://www.benesse-gtec.com/cbt/

5 資 格

① 教育学部独自付与資格（メンター）に関する規定

- 教育学部では、独自に付与する指導者資格（メンター）が3種類設けられています。
- 法律に基づく公的な資格ではありませんが、教育職員免許状や保育士資格と組み合わせて取得することによって、付加価値が生じます。

② 資格認定方法

それぞれの資格には、次のような共通の認定手続きが必要です。

- ① 各資格の認定には教育職員免許状（2種）以上、または保育士資格の取得を条件とします
- ② 資格取得のための各科目の単位認定条件は、B以上の成績を修めたものに限りませ
- ③ 資格取得を希望する学生は、後述する科目の単位を修得した後、所定の申請書類を記入のうえ、教務担当の教員に提出します
- ④ 申請書類の提出後、学部教授会にて、認定の可否を審議します
- ⑤ 認定が決定し次第、学部長印を捺した認定証を発行し、卒業以降、郵送します
- ⑥ 認定された資格は、当該学生が中途退学をした場合、または法律・学則に抵触する著しい不行跡がなされた場合には、失効するものとします

③ 認定科目

■共通条件……計4単位

全3種の資格認定の共通条件として、以下の4単位を履修してください。

科 目 名	単 位	履 修 条 件	履 修 単 位
教育インターンシップA 教育インターンシップ（幼）A	2	必 修	2
生徒・進路指導の理論と方法	2	必修選択	2
幼児理解と教育相談	2	必修選択	2

■個別条件

① 児童のための体育教育指導者……12単位以上（計16単位）

科目名		単位	履修条件	履修単位
	体育科指導法	2	必修	2
	体育（幼・小）	2	必修	2
	体育原理	2	必修	2
	体育実技（体操）	1	必修	1
	体育実技（水泳）	1	必修	1
A群	健康管理論 健康スポーツ理論 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修選択	2
	体育心理学	2		
B群	体育実技（球技A）	1	必修選択	2
	体育実技（球技B）	1		
	体育実技（陸上）	1		
	体育実技（ダンス）	1		

② 児童のための心の教育指導者……~~10~~⁹単位以上（計~~14~~¹¹単位）

科目名	単位	履修条件	履修単位
教育インターンシップ B または C または D 教育インターンシップ (幼)B または C または D	2	必修	2
人間関係論 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
精神保健 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
特別支援教育 特別な支援を必要とする子どもの理解と援助 I	1 2	必修	1 2
発達心理学 子どもと家庭の発達心理学	2	必修選択	2
幼児理解と教育相談	2		
安全教育	2		

*ただし、教育インターンシップはTAPセンターで行うこと

③ 児童のための野外活動指導者……14単位以上（計18単位）

科目名	単位	履修条件	履修単位
教育インターンシップ B または C または D 教育インターンシップ (幼)B または C または D	2	必修	2
野外教育 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
フィールドワークA・B・C (野外教育分野のみ)	2	必修選択	2
国際研究A・B・C・D (野外教育分野のみ)	各2 (国際研究Dのみ3単位)		
環境教育 【ユニバーシティ・スタンダード科目】	2	必修	2
理科	2	必修	2
体育（幼・小）または体育（幼）	2	必修	2
図工または図工（幼）	2	必修	2

*ただし、インターンシップはTAPセンターで行うこと